

# 令和7年度 富山大学大学院 教職実践開発研究科

## 一般入試

## 小論文試験

### 注意事項

1. 開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. 問題用紙は3枚(表紙を含む)、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚である。  
問題冊子に不備がある場合は、直ちにその旨を監督者に申し出ること。
3. 受験番号は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、解答用紙以外は持ち帰ること。

問題

問1

文部科学省・国立教育政策研究所の「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」では、ICT機器活用の効力感のポイントとして、以下の3点が示されている。なお、一部書き改めた部分がある。

## 著作物引用箇所のため非公表

これらの3点を参考に、今後、授業等においてどのようにICT機器活用を進めていくべきか、あなたの考えを800字程度で述べなさい。その際、どのような力をつけるために、具体的にどのようにICT機器活用をするのかが分かるように記述すること。

出典：国立教育政策研究所ホームページ

<https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24summary.pdf>

問2

教師としてどのように発達障害の二次的な問題を予防し、二次的な問題に対応すべきか、下の資料を参考にあなたの考えを600字程度で述べなさい。

本資料は、令和4年12月改訂「生徒指導提要」（文部科学省）の、「発達障害に関する課題」について書かれた部分の一部である。なお、一部書き改めた部分がある。

<資料>

著作物引用箇所のため非公表





下書き用紙